



人権について考えよう！

1948年12月10日に国連総会において、世界の平和と差別の撤廃、人権を擁護するため「世界人権宣言」が採択されました。これを機に毎年12月10日を「人権デー」と定められ、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」として、様々な啓発活動が全国で開催されています。

この機会に、自分たちの身の周りや小田北中学校の中でそれぞれの「人権が守られているか」「差別・偏見・いじめ」がないか、を考える機会にして下さい。

11月25日(土)尼崎市教育・障害福祉センターの視聴覚室で行われた人権週間のつどいに参加しました。そこで、尼崎市人権作文コンテストの表彰式が行われ、小田北中の生徒は2名の優秀賞と2名の入選の表彰を受けました。おめでとうございます。

《表 彰》

人権作文コンテスト 尼崎大会

優秀賞 平川 颯汰 「僕の弟」

小助川 慶一 「未来への平和の種まき」

入 選 渡部 桃加 「障害のある人について」

池山 実結 「少年の手記」



手話教室・点字教室・アイマスク体験

今年も、体験活動を通して身体の不自由な人と“共に生きる”ことを考える学習をしています。それぞれに学校外から講師を招いて、講話と体験活動を行いました。障害を持って生活する上での困難等の話を聞き、その困難を克服するための努力を聞き、3年生はアイマスクをつけて実際に体験し、2年生は、点字学習を行い、1年生は手話の体験をしました。

これらの行事を一つの機会として色々な人の立場を知り、共に生きていこうとする心を養い広げて欲しいと思います。



